

甲斐の金山から

平成27年9月15日 第73号

# 博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



「日本一はムズカシイから、山梨のいちばんになりたいんだ♪でもね、山梨もたーいへん。だ・か・ら♪少しでもみんなに投票してほしいんだー」  
ということで！  
もーん父さんへの応援、よろしくお願ひします！

今年も「ゆるキャラグランプリ2015」エントリーしています。博物館だけでなく、身延の観光PRに貢献すべく、日々頑張っていますので、毎日ワンクリック宜しくお願いいたします。

投票場所：ゆるキャラグランプリオフィシャルウェブサイト  
投票開始：2015年8月17日(月)10時～11月16日(月)18時  
投票終了：2015年11月16日(月)18時

## 峡南は「教育・体験旅行」に活路

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口一夫

先に（『館だより63号』）峡南は「教育旅行」の宝庫と題し書いた。

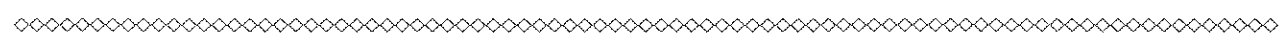
これは、当時中部横断自動車道開通を5年後に控えた段階にあり、開通による利便性はあるものの、反面、峡南5町が通過地域になる可能性も否定できないことから、早い段階における対策として「教育旅行による交流人口の拡大」に触れたものだった。

新規バイパスや高速道路の開通に伴う「人口動態」の変化には±の劇的変化の事例があり、県でも平成20～21年度は横断道開通に備えた活性化構想「策定」協議会を立ち上げ、22年度からは構想「推進」協議会として、県、市町村、地域が一体となって取組む方向で検討が始まった。峡南では4つのプロジェクト(PJ)が立ち上げられた。

- ①こしべんと開発普及PJ
- ②富士川下り地域活性化PJ
- ③「富士川流域観光公社（仮称）」設立による交流促進PJ
- ④富士川流域サイクルエリアPJ

その成果は、①は地元食材を使った弁当で他PJへも供給。④は「第3回ツール・ド・富士川」開催にまで発展。②は富士川活用地域活性化PJとして新たな取り組みが始まった。③は将来、公社へ繋がる「峡南地域体験型旅行誘致推進協議会」として、体験学習施設、地元ホテル旅館、食事や土産店の利用に主力を置いたツアー醸成に活路を見出す努力を進めたい。中部横断道も来年度（28年度）には有料道路方式による「増穂～六郷」間の9.3キロが開通、再来年度の（29年度）には、新直轄区間（無料区間）で「六郷～富沢」間の28.3キロが開通し、その先の有料道路方式の富沢～新清水（新東名）に繋がると、峡南の受け皿づくりは喫緊の課題である。

今できることは、教育・体験旅行の実施へ向け、未来志向で新たな協力関係樹立を図り、その積み上げの上で、近未来に「富士川流域観光公社（仮称）」設立と発展することを願っている。



### 常設『全国の砂金』へのご協力、資料寄贈ありがとうございます

『館だより71号』でご紹介した「国内全都道府県の砂金資料を展示する」という目標のもと、砂金掘り友の会ははじめ、博物館応援団、その他関係者様からも砂金資料のご協力をいただいております。夏のイベントも終わり、ひと段落した時期を使って、また展示改変を再開。現状における完成を冬の時期までを目標に作業を進めております。この話題は、夏前にNHKの地域ニュースでも取り上げられ、また、当館のシンボル展示・甲州金の隣のケースという位置関係もあり、ご観覧されるほとんどのお客様がこの輝かしい砂金資料に興味津々でご覧になってくださっています。

また、砂金資料とは別に、この程、由井満さんより、甲武信金山（長野県）の磨り臼・磨り石、鉦滓など合計8点の貴重な鉦山資料をご寄贈いただきました。こちらも常設展示での公開を考えております。資料ご協力いただいた皆様に謝意を表すべく、一日も早い展示を目指して参ります。

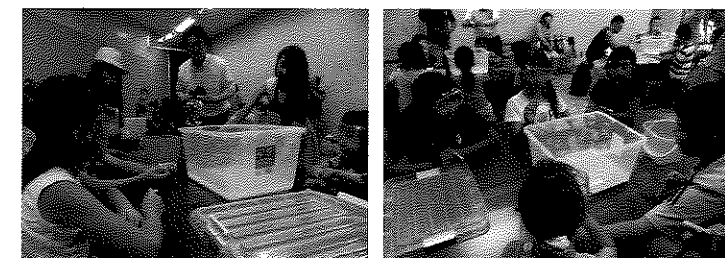
- 砂金資料寄贈・協力者（順不同・敬称略）
- 原澤英美（群馬県）、諫山浩士（愛知県）、中村軒一（愛知県）、小瀧辰徳（栃木県）、吉澤 功（栃木県）、山本有一（愛知県）、由井 満（長野県※鉦山道具）

## 「第7回化学実験教室」今年も大好評！

7月19日(土)

今年で7回目を迎えた大好評の「化学実験教室」。毎年恒例の化学実験教室に、今年も多くのお友達が参加し、3実験で延べ60人近くが参加して大盛況でした。この教室を楽しみにしてくれている常連さんや、初めて参加する子と様々でしたが、共通して言えたことは「化学を楽しんで学んでいた」こと。今年の3実験は「消える絵&カラーマジック」、「シャボン玉を浮かべる!？」&「冷却パックを作ろう!」、「偏光板の実験&光を分けよう!」の3つ。毎年、講師においでくださっている宮本一弘先生（東京・開成学園化学部顧問）は「身延の子ども達に化学の楽しさを知ってほしい」という思いを持ってこの教室を続けてくださっています。それに応えるかのように子どもたちはこの時間をたっぷり楽しんでくれました。

子ども達と保護者のみなさんへのアンケートの回答全てが「次回も楽しみにしている」という意見で、特に今回初めて来館してくれた方にとっては、博物館が学習して楽しめる場所であるということ、また知ってもらえる機会になりました。



## インターンシップ終了体験実習生 総勢27人

7月～8月中

イベント準備をしつつ、お客様もたくさんお迎えする夏休みは、年間通じて一番の賑わいを見せる時期。今年の博物館は夏イベント前と砂金掘り大会当日までの7月11日～27日の間、地元・山梨県立峡南高校から、1クラス27人の生徒を職場体験実習生として受け入れました。それぞれの生徒が5日間の就労が前提なので、延人数にすると、なんと121人を受け入れたことになります。

一日当たり、少ない日で3人、最多の日は21人という大所帯での研修になりましたが、欠席遅刻もなく、全員が予定通り研修を終えました。

砂金掘り大会は2日間で終わりですが、大会を無事に開催するための準備には多大な時間と人手がかかっています。その準備や運営の段取りは不可欠であり、またそれがなければ事業の

成功はありえないのです。当たり前のことですが、実際に自らが携わることで、そのことを実感できたようでした。

博物館は毎年各所から就労体験の研修先としての依頼を受けますが、大事なことは実習生自身がその体験を通して、何かを必ず得るということです。

博物館の裏方業務等を通して、お客様に楽しんでいただくためには何が必要なのか。博物館の本業はもちろんですが、多かれ少なかれ、世の中のすべての仕事が「サービス業」と言えるかもしれません。その中で、自分が今何をしなければならぬのかを理解して行動することができれば、どこの職場でも自分の活躍できる場所、居場所を生み出すことに気付いてくれることを願います。

第15回砂金掘り大会（一般大会）

7月25日(土)

昨年に引き続き、25日に一般大会、26日に学校大会、二日間に分けての開催となりました。ちょうど開催直前で発生した大型台風の進路が気にかかったところでしたが、ギリギリ回避、無事、当日を迎えることができました。今年も全国から約200人近くの方にご参加いただき大盛況。

毎年のことながら、参加者兼ボランティアスタッフとしてご協力いただいている砂金掘り友の

会&博物館応援団の皆さん、ありがとうございました。

振り返ってみれば今年の夏で一番暑かった日と思えるような炎天下、砂金を巡る熱い戦いが繰り広げられた一般大会。結果は下表のとおりです。

そして日本最大級の「スポーツ砂金採り」の祭典。来年大会への入賞、そして優勝に向けて、体験室での精進にも力を入れましょう。

2015年「砂金掘り大会」競技結果一覧（敬称略）【ジュニアの部】

Table with 4 columns: Rank, Name, Gold Amount, Total Score. Includes sub-section for '競技の砂金数：6粒'.

【初心者の部&ベテラン部門予選】

Table with 4 columns: Rank, Name, Gold Amount, Total Score. Includes sub-section for '競技の砂金数：7粒'.

【ベテランの部】 ※上位20名予選進出者

Table with 4 columns: Rank, Name, Gold Amount, Total Score. Includes sub-section for '競技の砂金数：16粒'.

【頂上決戦】

Table with 4 columns: Rank, Name, Class, Gold Amount, Total Score.

総合優勝 首藤 弘志 さん

砂金甲子園！第12回東西中高交流砂金掘り大会

7月26日(日)

一般大会の翌日、東西の中高生が砂金掘りのテクニックを競う「砂金甲子園!」。12年目を迎えた「東西中高交流砂金掘り大会」は、麻布学園、そして公立校の新座市立第四中、5年ぶり復活の駿台甲府の3校を新たに迎え、昨年優勝校の灘と桐朋に、開成、大妻、山梨学院、慶応義塾、峡南高校、合わせて全10校が激突する大会となりました。

団体戦・個人戦の得点制で行われる約140名の名の生徒たちが繰り広げた熱い戦いは、各校全員が参加する団体戦から始まりました。今年も母校の看板を背負って生徒全員が参加するルー

ルに変更し、その獲得点数を受けて、例年通りの個人戦を行いました。団体戦ルールは、全員のタイム成績を算出した後にチームの平均値をとり、その値がチーム成績になるという方法です。団体戦では、砂金の採取数ゼロの学生がいなかった大妻（1位）、桐朋（2位）、灘（3位）で個人戦を迎えました。

続く個人戦で圧倒的な強さを誇ったのは桐朋学園。なんと個人戦全選手がパーフェクトという前代未聞の大記録を出したのです。圧倒的成績で逆転し、第12回東西中高交流砂金掘り大会を制しました。

砂金甲子園！第12回東西中高交流砂金掘り大会【団体戦得点表】

Large table showing team scores for various schools across 6 rounds. Includes sub-section for '競技の砂金数：7粒'.



各学校に様々なドラマがあった砂金甲子園。復活勝利を目指して、先生と生徒が丸になって事前練習を申し出た駿台甲府、密かに練習を重ねてきた大妻、先輩が築き上げた栄光を守るべく挑んだ山梨学院、個人戦の副将戦、大会の時間が押ししまい帰りの電車の時間が迫ったことで大将戦を途中棄権しなければならない状況下、それを選ばなかった灘、大会翌日は中山金山遺跡登山というハードスケジュールで参加した慶應義塾、順位よりも明るく楽しむことを重視、灘とともに第1回目からの常連校・開成、灘・開成

打倒を掲げ挑んだ新座市立第四中、面白そうだから参加する、そんな明るい雰囲気麻布学園。名門校を相手に地元で迎える峡南高校。すべての学校の生徒たちにとって、「山梨の博物館で砂金掘り大会に参加した」そんなひと夏の思い出になり、また彼ら彼女らが学校を卒業した後も訪れてくれたら、こんなに嬉しいことはありません。

来年もたくさんの生徒たちがこの大会に参加してくれるよう、より充実させた大会に成長させていきたいと思っています。そんな今年の学校大会の結果は次のとおりです。

【個人戦得点表】

学校名	先鋒 (6粒)	2位 (5粒)	3位 (4粒)	4位 (3粒)	5位 (2粒)	6位 (1粒)	7位 (0粒)	8位 (0粒)	9位 (0粒)	10位 (0粒)	11位 (0粒)	12位 (0粒)	13位 (0粒)	14位 (0粒)	15位 (0粒)	16位 (0粒)	17位 (0粒)	18位 (0粒)	19位 (0粒)	20位 (0粒)	合計得点	最終順位
灘	10点	7点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	43点	3位
開成学園	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	38点	6位
山梨学院	12点	11点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	43点	3位
大妻	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	33点	8位
慶應義塾	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	24点	10位
桐朋	15点	14点	13点	12点	11点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	68点	1位
駿台甲府	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	32点	9位
麻布	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	42点	5位
新座第四	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	38点	6位
峡南	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	49点	2位

【総合成績】

学校名	団体戦得点	団体戦順位	個人戦得点	個人戦順位	総合得点	総合順位	個人賞
灘	20点	3位	43点	3位	63点	4位	新人賞 駿台甲府 七澤 和奏
開成学園	14点	6位	38点	6位	52点	6位	MVP 最優秀選手賞 峡南 角丸百合奈
山梨学院	16点	5位	43点	3位	59点	5位	※総合順位が同着の場合は団体戦の順位を優先する
大妻	30点	1位	33点	8位	63点	3位	
慶應義塾	12点	7位	24点	10位	36点	10位	
桐朋	25点	2位	68点	1位	93点	1位	
駿台甲府	10点	8位	32点	9位	42点	9位	
麻布	8点	9位	42点	5位	50点	7位	
新座第四	7点	10位	38点	6位	45点	8位	
峡南	18点	4位	49点	2位	67点	2位	



2015年東西中高交流戦順位

1位	桐朋	6位	開成学園
2位	峡南	7位	麻布学園
3位	大妻	8位	新座市立第四中
4位	灘	9位	駿台甲府
5位	山梨学院	10位	慶應義塾中等部



2連覇達成 優勝 桐朋学園

第15回こども金山探険隊

恒例の人気行事、子ども金山探険隊。今年も隊員は年長さんから中学一年生までの20隊員。保護者の皆様もあわせて40名の方にご参加いただきました。500年前の遺跡を見学・記念撮影後、昨年に引き続き“毛無山クリーン活動”として、ごみを拾いながら、山を大切にきれ

8月1日(土)～2日(日)

いにしながらの下山を今年も展開し、山のマナーを知りました。二日目は灰吹き作業と甲州金作り。自分で作ったカード型ケースに収めて完成した後の修了書授与式。事業のすべてが無事に終わり、今年も楽しい探険隊となりました。



テレビの取材・撮影で博物館がたくさん紹介されました②

「ドラGO!(テレビ東京)」、「開運!なんでも鑑定団(テレビ東京)」、「平成教育委員会(フジテレビ)」etc.

『館だより72号』でもお伝えいたしましたが、今年度はテレビ撮影・取材などで多くのメディアに取り上げていただいております。8月23日オンエアの「ドラGO!」では博物館前を流れる下部川で、よるこの浜口優さん、橋本マナミさん、飯尾さんら三人が砂金採りに挑戦という内容で、結果、塵のような小さな小さな金をGETしたのも、お馴染みの「鑑定団」では、出品が甲州露一判判が鑑定品として出品された際、他施設と並んで提供した当館の写真資料が甲州金の紹介VTRで使われました。CNNという山梨のケーブルテレビの「街角トピックス」では、館の展示内容をスタッフが詳細に解説するVTRがオンエア。同じくフジテレビでも甲州金

をひとつの話題に取り上げ、博物館に撮影にきています。いずれも大きな反響をいただき入場者数増加につながることは、大変喜ばしいことです。こうやって多くの方が目にする「テレビ」というメディアに出続けることは当然のことながら重要な宣伝であり、注目を集め続けるためにも非常に重要です。世の目に付くためには、日頃の館内業務はもちろん、事業開催においてもお客様が楽しんでくれる、喜んでくれることに視線を置くことを忘れないことが大切です。居心地の良い空間、満足していただける時間をスタッフ全員で作り返し、集客につながるよう、改めて気を引き締めていく所存です。

## 「平成27年度日本鉱業史研究会 現地研究会」のお知らせ

戦国時代及び、江戸時代初期の日本の金鉱業に大きな足跡を残した湯之奥金山地域の歴史、特に鉱業技術について研究を深めることを目的とした、日本鉱業史研究会主催の地研究会です。今年のテーマは「甲斐の金山遺跡」ということで、金山博物館がメイン会場となります。

一般聴講も大歓迎。参加希望の方は当館（0556-36-0015）までご連絡ください。より多くの方々のご参加をお待ちしております。

■期 日：平成27年9月26日(土) 13時30分～16時40分

■場 所：博物館2階・映像シアター ※参加無料

■主 催：日本鉱業史研究会（湯之奥金山博物館 後援）

■定 員：85名（事前申込）

### ■発表内容

- 13:30 開 会  
13:30～13:50 湯之奥金山博物館 館長 谷口一夫「挨拶・湯之奥金山遺跡について」  
13:50～14:10 広瀬義朗（湯之奥金山博物館応援団）「湯之奥・早川周辺の砂金の産地」  
14:10～14:30 天野直人（湯之奥金山博物館応援団）「毛無山と砂金掘り」  
14:30～15:00 萩原三雄（帝京大学山梨文化財研究所所長）「鉱山臼について（仮）」  
15:00～15:20 休 憩  
15:20～15:40 小松美鈴（湯之奥金山博物館学芸員）「甲州金について」  
15:40～16:10 久間英樹（松江高専）・中西哲也（九州大学）「内山金山坑道調査に関して（仮）」  
16:10～16:40 井澤英二（日本鉱業史研究会会長）「甲斐の金鉱床と金粒（仮）」  
16:40 閉 会  
16:40～17:40 湯之奥金山博物館 見学

## 11月20日(金)「山梨県民の日」は、年に一度の無料入館デー

11月20日は「山梨県民の日」。博物館でも年に一回の特別感謝デーとして、この日、どなた様も展示観覧無料、砂金採り体験は1割引きでお楽しみいただけます。

このお得な日をお見逃しなくご来館ください。「もーん父さん」にも会えるかも!?

### 開館時間のお知らせ

10月から4月までの7か月間は冬時間の開館となりますので、開館時間をお確かめのうえ、ご来館ください。この季節、夏とはまた一味違ったイベントも用意させていただく予定です。

10月～4月迄：午前9時～午後5時迄（受付は午後4時30分迄・毎週水曜日休館）

### 編 集 後 記

あれだけ暑かった今年の夏も過ぎてしまえばあつという間。今度は「寒い」という言葉を使う季節がやってきます。その前に「秋」があるわけですが、この季節の直近イベントは本誌でお知らせしましたように、日本鉱業史研究会の研究集会です。お気軽にご参加いただいて結構ですので、多くの皆様のご聴講をお待ちしております。そして扉にもありますように、今年もゆるキャラグランプリにエントリーしている「もーん父さん」への応援宜しく願いいたします。」もっとも「今年も」というよりも、金山だけでなく、身延のキャラクターとして、継続的に応援宜しく願いいたします。

**博物館だより**

第73号 平成27年9月15日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス [http://www.town.minobu.lg.jp/local\\_minobu/kinzan/index.html](http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html)

博物館Eメール [yunoking@town.minobu.lg.jp](mailto:yunoking@town.minobu.lg.jp)